

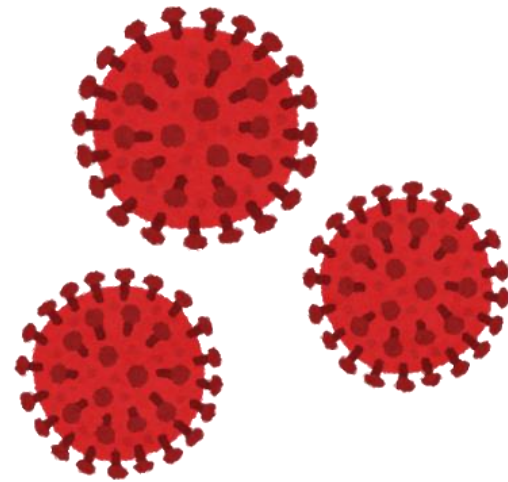
本市における新型コロナウイルス 対策の現状について

～ 4月29日(水)以降の状況 ～

報告項目	<ol style="list-style-type: none">1 感染の状況等2 対応の経緯（4月29日(水)以降）3 コロナ対策の現状
------	---

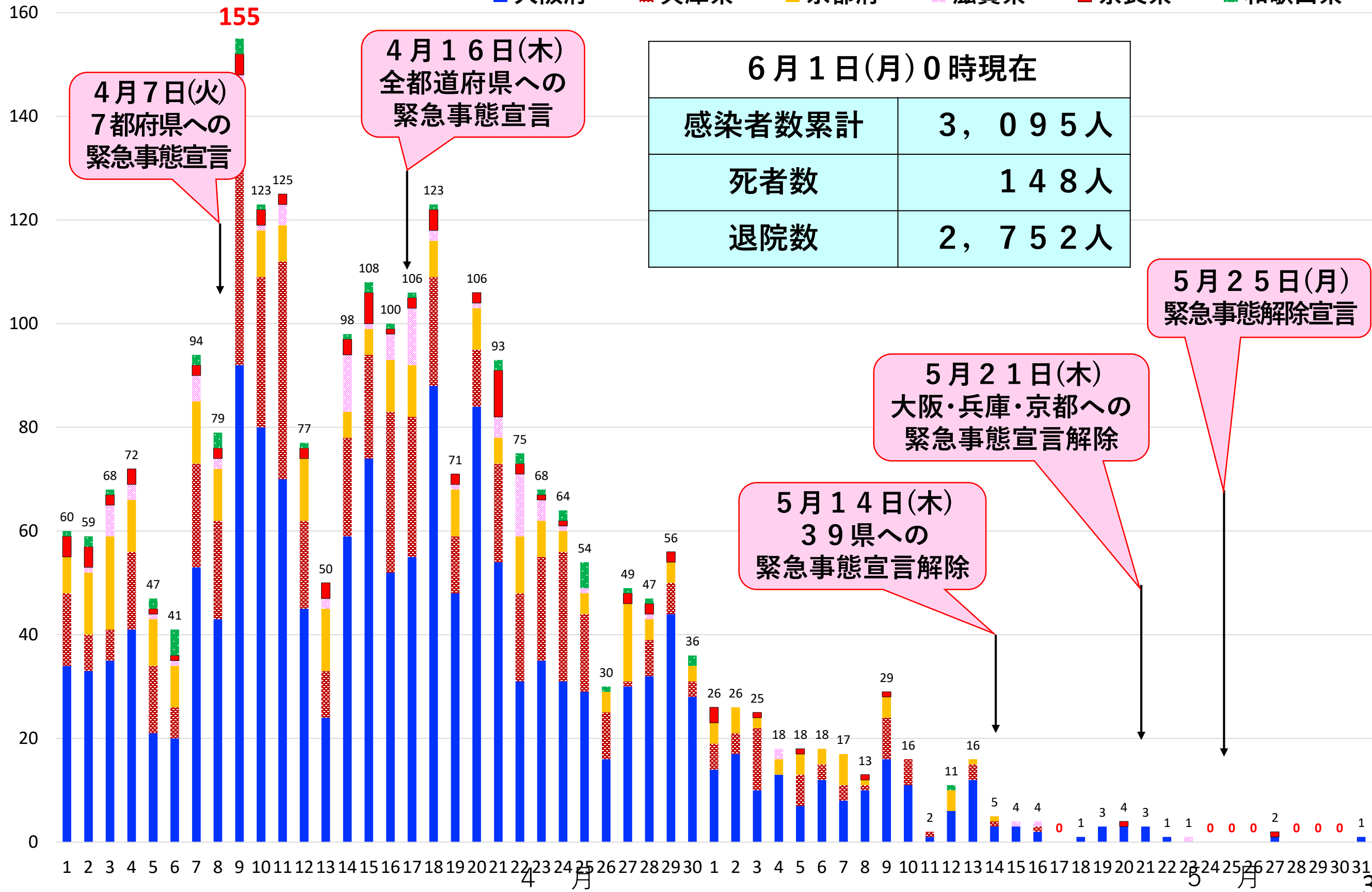
令和2年6月1日(月)
奈良市新型コロナウイルス
対策本部事務局

1 感染の状況等



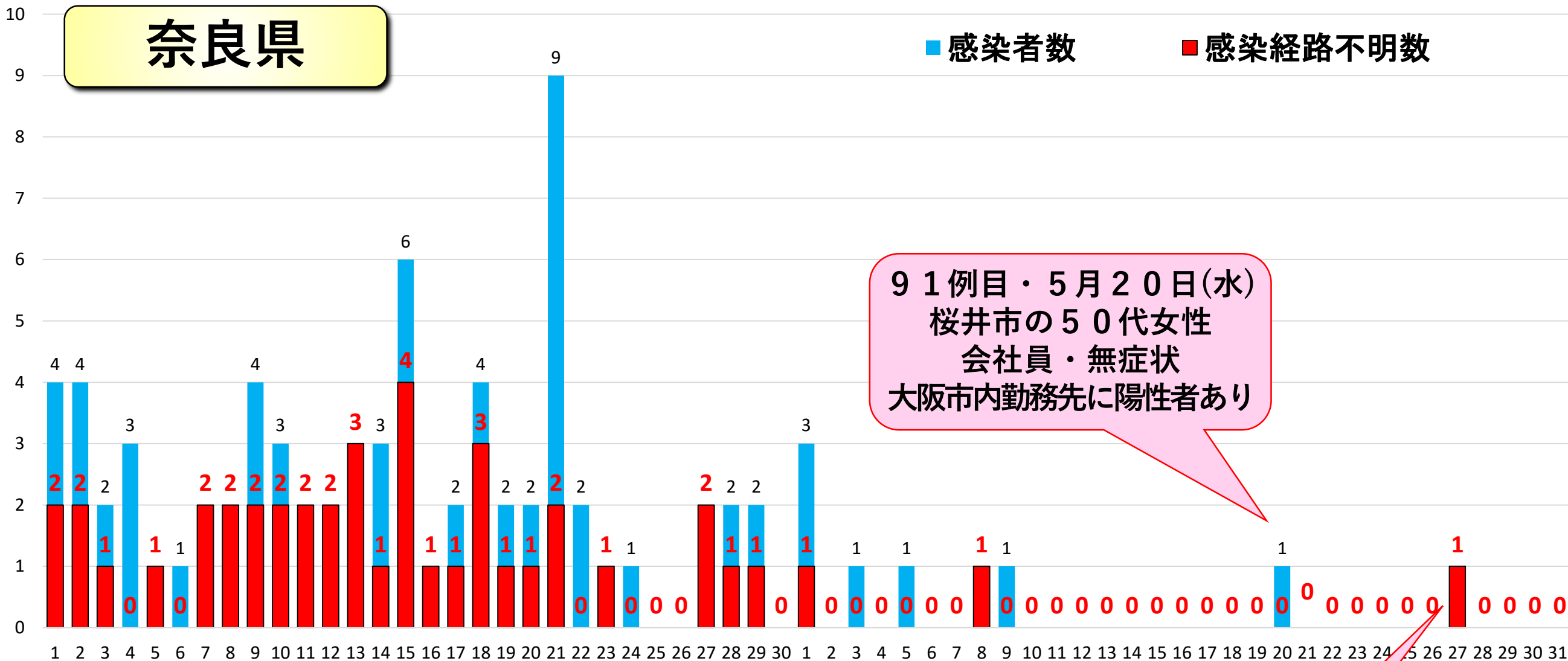
関西2府4県における新規感染者数の推移

■大阪府 ■兵庫県 ■京都府 ■滋賀県 ■奈良県 ■和歌山県

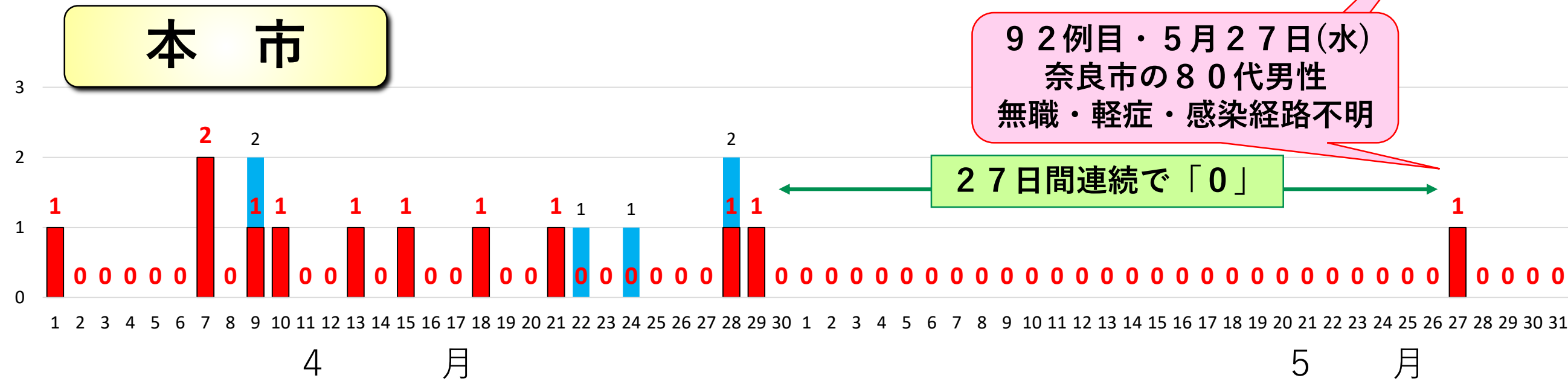


奈良県及び本市における新規感染者数等の推移

奈良県



本市



奈良県及び本市における感染者・患者の入院状況

5月31日(日)15時00分現在

	奈良市	奈良県		
感染者数累計	20人	92人		
現在感染者数	1人	2人		
入院中 [対応可能数]	1人	2人 [318床]		病床利用率 0.6%
重症	(0人)	(0人) ([18床])		重症病床利用率 0.0%
宿泊療養 [対応可能数]	0人	0人 [108室]		宿泊療養利用率 0.0%
自宅療養	—	—		
死亡	2人	2人		
退院等累計	17人	88人		

本市における感染者の状態

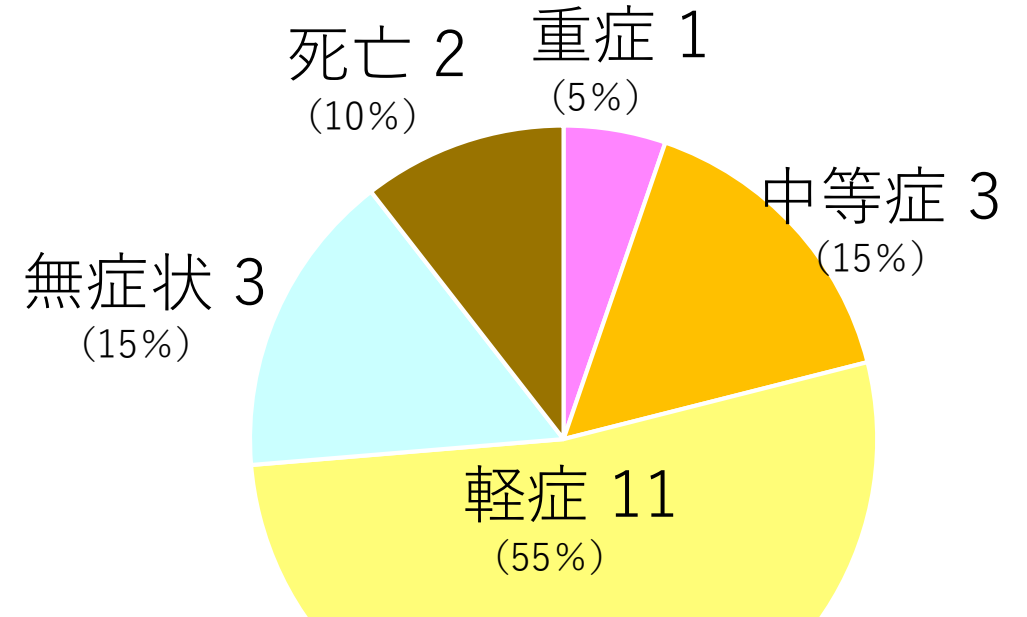
No	月 日	年齢・性別	当初の症状	状 態
1	3月 6日(金)	60代男性	軽 症	大阪ライブハウス
2	〃	70代女性	無症状	横浜港のクルーズ船
3	〃	60代男性	無症状	横浜港のクルーズ船
4	3月11日(水)	40代女性	中等症	販売業（大阪市内）、大阪ライブハウス滞在者の接触者
5	4月 1日(水)	50代男性	軽 症	会社員（大阪市内）、海外から帰国
6	4月 7日(火)	50代男性	軽 症	会社員（大阪市内）、上記感染者と同じ会社勤務
7	〃	40代男性	軽 症	公務員（大阪市内）、同じ職場で感染者発生あり
8	4月 9日(木)	50代男性	軽 症	会社員、同僚（大阪府内在住）に症状
9	〃	80代女性	無症状	無職、市内感染者の濃厚接触者
10	4月10日(金)	90代男性	中等症	無 職
11	4月13日(月)	70代男性	中等症	無 職
12	4月15日(水)	50代男性	中等症	会社員
13	4月18日(土)	80代女性	軽 症	無 職
14	4月21日(火)	20代女性	軽 症	看護師
15	4月22日(水)	20代男性	軽 症	会社員、市内感染者の濃厚接触者
16	4月24日(金)	40代女性	軽 症	看護師、勤務先（大阪府内）の感染者と濃厚接触
17	4月28日(火)	50代女性	中等症	無 職
18	〃	60代女性	軽 症	会社員、市内感染者の濃厚接触者
19	4月29日(水)	70代女性	重 症	無 職
20	5月27日(水)	80代男性	軽 症	無 職

本市における感染者の状態分析（累計：20人）

① 感染者の性別・年代・当初の症状

性別	
男性	55% (11人)
女性	45% (9人)

年代別	
～30代	10% (2人)
40代～60代	55% (11人)
70代～	35% (7人)



70%が軽症・無症状

② 感染者の感染経路

		奈良市		奈良県	
①	クルーズ船乗船者	2人	10.0%	2人	2.2%
②	大阪勤務者とその接触者	5人	25.0%	72人	78.3%
③	大阪訪問者とその接触者	4人	20.0%		
④	⑤の接触者	2人	10.0%	〔大阪勤務〕 28人	〔大阪勤務〕 29.3%
⑤	感染経路の推定が困難	7人	35.0%		

<参考> 大阪府
(5/31)

863人	48.4%
920人	51.6%

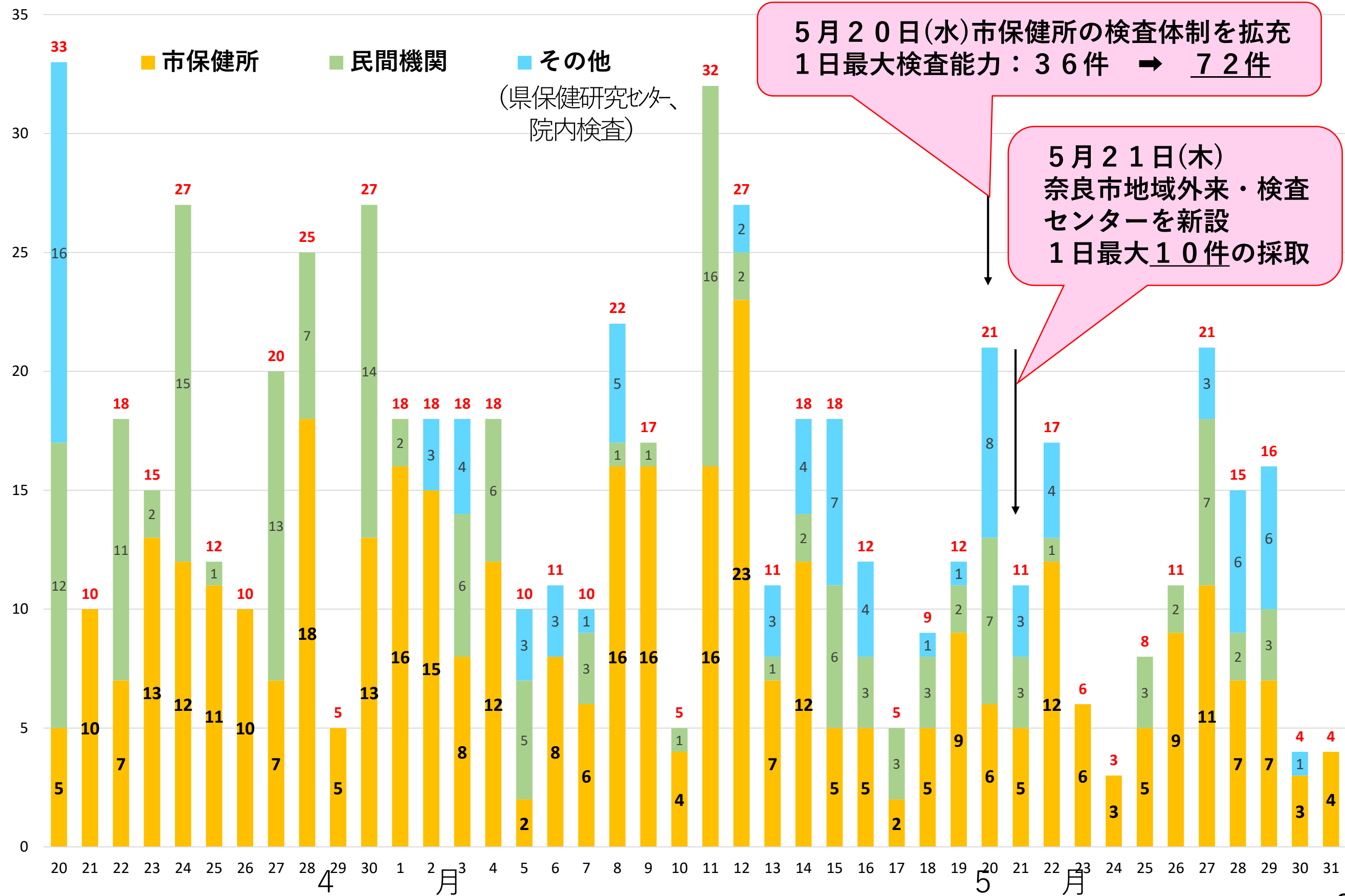
③ 感染者の発症から相談・検査・判定待ち・入院期間等の状況（平均値）

発症～相談	相談～検査	判定待ち	入院待ち	入院等期間	合計日数
4.5日	0.3日	1.6日	0.2日	17.0日	23.6日

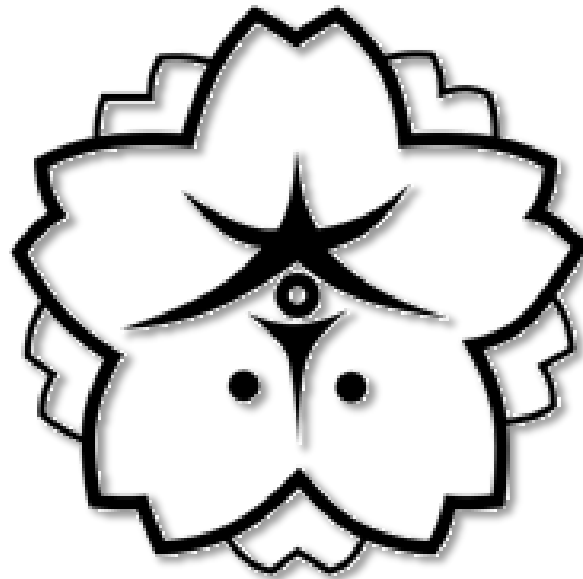
入院期間 全国平均 16.6日 (3/23 国立感染症研究所)

最短：3日間
最長：45日間

本市におけるPCR検査の実施状況



2 対応の経緯（4月29日(水)以降）



本市における対応の経緯（4月29日(水)以降）

対策本部会議		主な決定事項（※）	国・県などの動向
第6回	5月5日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査体制の強化 ・子どもの発達相談の一部再開 ・市立図書館の予約貸出し再開 	4日(月)政府、緊急事態宣言の延長を決定 5日(火)県、対処方針を変更(5.5方針) 5日(火)大阪府、大阪モデルを決定
第7回	5月12日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>対策のガイドライン（出口プラン）</u> ・税や福祉の一部窓口の再開 ・5月末までは主催事業の中止及び休館継続 	
第8回	5月19日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>入口プランとモニタリング指標</u> ・BCP（各部局の発生時優先業務） ・学校、園の再開 （6月1日(月)から段階的に） 	14日(木)政府、39県の解除を決定
第9回	5月26日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の力を地域の課題解決に活用 ・市民の実態把握 	21日(木)政府、大阪などの解除決定 22日(金)県、対処方針を変更(5.22方針) 25日(月)政府、緊急事態解除を宣言 29日(金)県、対処方針を変更(5.29方針)

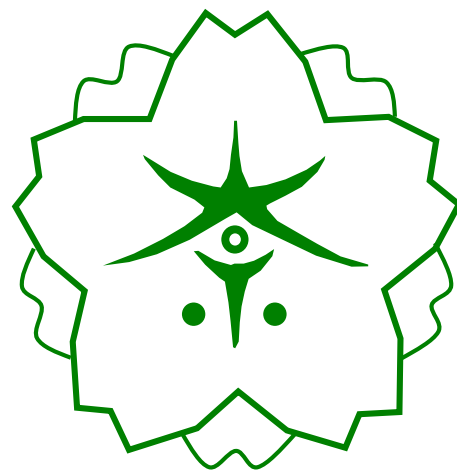
※ 対策本部会議での方針決定後、事務局等で具体化後、公表等を行ったものを含む。

新型コロナ対策のガイドライン（出口プラン）

（5月13日(水)発表）

	フェーズⅢ	フェーズⅡ	フェーズⅠ-2	フェーズⅠ-1	アフター・コロナ	
感染の状況	感染まん延期	感染拡大期	感染拡大リスクが概ね抑制されている状態	感染拡大リスクが抑制されている状態	感染の収束	
指 標	市内での新規感染経路不明者数（直近1週間）				—	
	合計7人以上	合計3人以上	合計2人以上	0人を継続		
時期的目安	—	～5月17日(日)	5月18日(月) ～5月31日(日)	6月1日(月)～	—	
制限の狙い	命を守る徹底した感染拡大防止	感染拡大防止を最優先に市民サービスを抑制	急激な緩みを抑制しつつ緊急的な業務を一部再開	緩みを抑制しつつ市民サービスを提供	新たな社会システムに移行（働き方改革等）	
感染拡大防止対策など	市役所全面閉鎖など、市民の命を守るための緊急対策	3密の徹底回避など徹底した感染防止対策の実施	大阪等及び奈良県内の感染状況等をモニタリングしつつ、感染拡大の兆しが見られたら、速やかに制限を再開	<ul style="list-style-type: none"> 削減目標に向けた「一律の出勤率抑制」から、業務内容に応じた「柔軟な在宅勤務」に移行 妊娠している職員の在宅勤務、時差出勤の推奨は継続 「新しい生活様式」の徹底 	—	
市の主な業務	市民啓発	・大都市への往来及び地域内での外出自粛の呼び掛け		・大都市への往来自粛呼び掛け	<ul style="list-style-type: none"> 全庁的な業務効率化 AI、ICTなどの更なる活用 各種オンライン化の定着 テレワークや時差出勤など定着 <p>↓</p> 新たな社会システムに移行	
	窓口業務	・市役所の全面閉鎖など	・窓口の原則閉鎖（緊急の場合等を除く）	・郵送やオンラインの手続き、予約制などは継続		
				・税、福祉及び市民課の一部窓口再開 ・各課窓口数の制限など、感染拡大に配慮しながら、すべての窓口を再開		
	医療体制	・逐次、医療提供体制を整備		・早期発見対応のため、PCR検査体制（ドライブスルー等）の強化 ・第2波に備え、市保健所及び市立奈良病院の体制を維持・充実		・妊産婦訪問等再開
				・市主催のイベント等は中止 ・市の公共施設は閉館		・子ども発達センターの一部、図書館の予約貸し出しは再開 ・イベント等自粛、休館等を段階的に解除
	学校・園	・臨時休業		・段階的に学校、園を再開		
経済支援	・国及び県の政策を最大限に活用しつつ、きめ細やかな経済・雇用対策を推進					

3 コロナ対策の現状



本市における対処方針（6月1日(月)現在）

感染状況の監視体制を堅持して、第2波に備えるとともに、
「まちの元気を取り戻すための取組」とアフターコロナ対応
を促進する。

本市におけるモニタリング指標（入口プラン）

指 標		フェーズ I-2へ	フェーズ IIへ	フェーズ IIIへ	フェーズ IVへ	
		概ね抑制	感染拡大期	感染まん延期	感染まん延期 (ピーク時)	
重要指標	不特定多数への 感染拡大リスク	① 市内での新規感染経路 不明者数 (直近1週間の合計)	2人以上	3人以上	6人以上	12人以上
		② 県内での新規感染経路 不明者数 (直近1週間の合計)	3人以上	5人以上	10人以上	20人以上
	医療崩壊 のリスク	③ 県内での新規感染者数 (直近1週間の合計)	4人以上	7人以上	24人以上	48人以上
		④ 県内での重症病床 使用率(18床中)	25% 以上	50% 以上	70% 以上	90% 以上
参考	⑤ 大阪府での新型コロナ警戒信号	黄	赤	—	—	

※ 4月の感染拡大期における実績値等をもとに設定

フェーズを 上げる条件 (いずれかに該当)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①又は②の数値が3日間連続で超える場合 2. ③及び④の 〃 3. 上記以外で⑤などを参考に必要があると判断する場合
-----------------------------	---

本市におけるモニタリング結果（入口プランを適用）

感染状況のフェーズ
（5月31日（日）現在）

フェーズ1-1
（感染拡大リスクが抑制されている状態）

指 標		実 績 値			判断基準	
		5 / 23土 ～ 5 / 29金	5 / 24日 ～ 5 / 30土	5 / 25月 ～ 5 / 31日		
重要指標 ※ いずれかに該当	不特定多数への 感染拡大リスク （①又は②）	① 市内での新規感染経路 不明者数 （直近1週間の合計）	1人	1人	1人	2人以上
		② 県内での新規感染経路 不明者数 （直近1週間の合計）	1人	1人	1人	3人以上
	医療崩壊 のリスク （③及び④）	③ 県内での新規感染者数 （直近1週間の合計）	1人	1人	1人	4人以上
		④ 県内での重症病床 使用率（18床中）	5 / 29金	5 / 30土	5 / 31日	—
	0%		0%	0%	25% 以上	

※ 5月27日（水）、奈良市内で新規感染経路不明者1人

参考	⑤ 大阪府での新型コロナ警戒信号	緑	緑	緑	黄
----	------------------	---	---	---	---

新型コロナウイルス対策のガイドライン（入口プラン）

	フェーズⅠ-1	フェーズⅠ-2	フェーズⅡ	フェーズⅢ	フェーズⅣ	
感染の状況	感染拡大リスクが抑制されている状態	感染拡大リスクが概ね抑制されている状態	感染拡大期	感染まん延期	感染まん延期（ピーク時）	
期間的目安	数カ月～1年程度	2週間程度	1カ月程度	2週間程度	2週間程度	
制限の狙い	緩みを抑制しつつ市民サービスを提供	急激な緩みを抑制しつつ緊急的な業務を一部再開	感染拡大防止を最優先に市民サービスを抑制	命を守る徹底した感染拡大防止	命を守る最大限の感染拡大防止	
感染拡大防止対策など	「新しい生活様式の徹底」などによる感染防止と社会経済活動の両立		3密の徹底回避など徹底した感染防止対策の実施	市役所全面閉鎖など、市民の命を守るための緊急対策		
市職員参集等の基準	BCPに基づき業務を遂行					
	職員は9割参集	職員は7割参集	職員は5割参集	職員は3割参集	職員は1割参集	
	業務内容に応じた「柔軟な在宅勤務」時差出勤の推奨		7割の通常業務削減と2割のコロナ関連業務増	コロナ関連業務を最優先に徹底した業務の選択と集中（徹底した在宅勤務）		
	妊娠している職員の在宅勤務					
市の主な業務	窓口業務	・各課窓口数の制限等感染拡大に配慮しながら、全ての窓口運営	・窓口は税・福祉及び市民課等の一部に限定	・窓口の原則閉鎖（急ぎの用件のみ対応）	・市役所の全面閉鎖等	
		郵送やオンラインの手続き、予約制等は継続				
	イベント 公共施設	・感染拡大に配慮しながら、開催・運営	・市主催のイベントは原則中止 ・市公共施設は原則閉館 ・子ども発達センター運営、図書館は予約貸出しのみ	・市主催のイベントは全面中止 ・市公共施設は全て閉館		
学校・園 保育所等	・通常運営 ・関係者に感染者等が出た場合は当該学校園は閉鎖	・原則、通常運営 ・関係者に感染者等が出た場合は当該学校園は閉鎖	・学校、園（幼稚園及び1号認定こども園）は臨時休業			
			・学校園及びバンベ-ホームは特別預かり ・保育所等は特別保育	・学校園、バンベ-ホーム、保育所等を限定して最低限の特別預かり、特別保育	・学校園、バンベ-ホーム、保育所等をさらに限定して最低限の特別預かり、特別保育	